



こころざし

みずか うご

「志をもち、自ら動く」

令和3年2月2日発行

音戸中学校 学校通信第34号 (教頭：坪浦敏美)

「かけがえのない命」を守る…あなたがなすべきことは？

第3学期が始まり、約一か月が経過しました。第3学年は、中学校卒業まで残り約一か月という時期でもあります。寒さに負けず、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に留意し、今月も充実した生活を送りましょう。

さて、石原幹生校長は1月27日(水)の学校朝会「講話」において、「命の大切さ…“自分の事”として、どう行動するべきか」について話されました。以下、「講話」を掲載します。(内容を一部抜粋しています。)

「(前略) このたび、残念なことです。先週1月19日(火)に呉市内の中学校に通う2年生徒が遮断中の踏切を通過しようとして、走行中の普通列車と衝突し、死亡するという痛ましい事故が発生しました。亡くなった生徒や残された家族の方々の気持ちを考えると、さぞ無念であろうと思います。自分の「命」はたった一つしかありません。また、一度亡くした命は、二度と返ってくることはありません。皆さんが事故に遭ったら、お家の人はとても悲しみます。先生たちもとても悲しみます。是非、皆さんは交通事故に遭わないように気を付けて行動してください。(中略) 「安全な行動や命の大切さ」について、皆さんに「自分事」として捉えてもらうために、(中略)「交通安全作文コンクール」の入賞作品から2点を紹介します。(中略) しっかりと考え、安全な行動につなげてほしいと思います。(中略) 題は「お互いに守ろう交通安全」です。

最近、登校中の通学班に自動車が入り込み、小学生が巻き込まれる事故が多発しています。交通事故のニュースを見るたびに、お母さんは、「いくら交通ルールを守っていても、事故に巻き込まれる事があるのだから、だろうではなく、かも知れないと考えて、目配り気配りを忘れずに行動しなさい。」と言います。私は頭の中で、「またおかげさな事を言う。そんな事を言われなくても分っているし、それに事故なんて滅多におきないよ!」と思いながら返事をしていました。ある朝、いつものように通学路の十字路の信号を確認して横断していると、突然、車が私達の班に突っ込んで来ました。次の瞬間、「ギギギー」と、けたたましいタイヤのスリル音がなりました。私は、「あっぶつかる! 逃げなきゃ!」と頭に浮かびましたが、怖くて足がすくんでしまい、その場で目をつぶる事しか出来ませんでした。そして、「あっ私達死ぬのかも?」と思った瞬間、あの時のニュースが頭に浮かびました。「私にかぎって、事故に巻き込まれるなんてないだろう」と思う、これこそが「過信なのだ!」と気がきました。そして、今まで他人事のように思っていた自分が情けなく悲しくなりました。いつ自分の身に起こってもおかしくない事だと分かりました。(中略) お母さんが、「だろう」ではなく、「かも知れない」と考えて気をひきしめて行ってらっしゃいという意味が身に染みて分かりました。(後略)」



「サオンドバッジ」年間10個達成 →「ゴールドバッジ」授与

3年1組 住木 ヒカリ さん

今年度最初の「サオンドバッジ」年間10個以上の取得生徒を紹介します。(2月1日現在)

3年1組・住木ヒカリさんです。住木ヒカリさんは、「サオンドバッジ」を11個取得しています(内訳:赤4個 青3個 黄3個 紫1個)。現在、全校集会は感染症対策のため放送により行っており、全校生徒の前ですくには披露ができませんが、住木ヒカリさんには「ゴールドバッジ」を授与します。おめでとうございます!

音戸中学校独自の制度である「サオンドバッジ」は、①学習活動、②当番活動、③各種検定やコンクール、④部活動での中体連・中文連活動、⑤継続的な地域での協働活動、地域での社会体育の活動、⑥毎月の学級内活動 等で活躍・入賞・選出された生徒に授与するものです。

そもそも、「サオンドバッジ」は生徒が「こつこつと真面目に一生懸命努力し続けていくこと」を応援するためにできた制度です。そして、年間10個以上を取得してきた生徒の「不断の努力と真面目で真摯な取組の姿勢」は、本校の模範(モデル)となるものです。素晴らしいですね。

「さわやか音中生」学級のMVPの紹介 “サオンドバッジ(黄)”を授与します” 学級MVP【1月】

1年1組：荒川 稔幸 くん、谷 帆乃香 さん 1年2組：重元 清空 くん、森島 綾香 さん
2年1組：鹿島 海裕 くん、石井 結心 さん 2年2組：三嶋 侑真 くん、尾濱 さくら さん
3年1組：原田 佳卓 くん、前田 菜緒 さん 3年2組：寺口 魁星 くん、藤井 琴 さん